

体験活動参加型＋子育てサロン型＋在宅取組型(幼稚園)

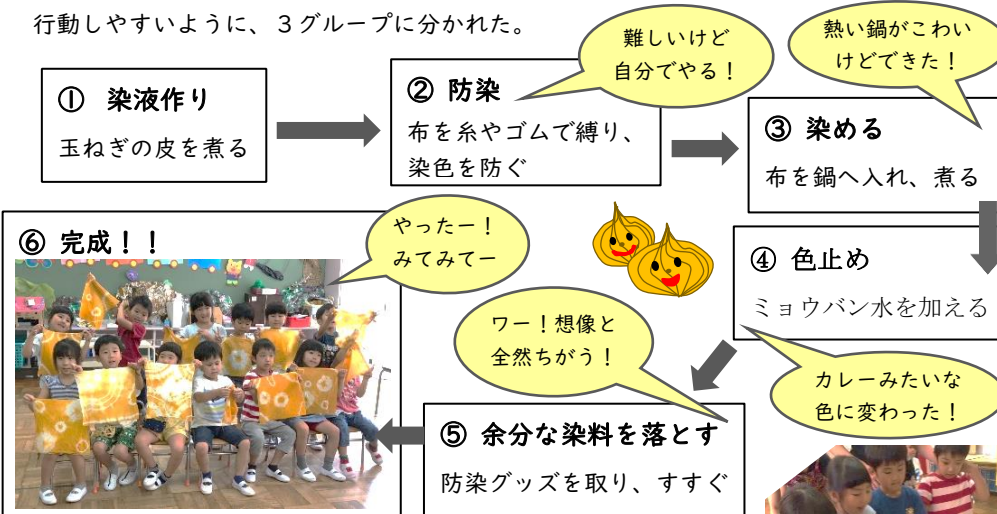
学校名等	大垣市立興文幼稚園
実施日時	令和元年7月1日(月)
会場	興文幼稚園 保育室 テラス
参加人数	園児(13名) 未就園児(4名) 保護者(13名) 先生(4名)
学習課題(分野)	玉ねぎ染め体験(食育・ものづくり)
運営者の願い	当園では食育の一環として“園庭で野菜を育てる⇒収穫⇒みんなで調理⇒食する”ことを数多く行っている。今回、自分達で収穫した玉ねぎの皮を用いた“玉ねぎ染め”という食べる以外の体験に繋げ、新しい発見や喜びを親子やみんなと一緒に感じたいと思い企画・実施した。

学習の内容

< 玉ねぎ染め > 講師：玉ねぎ染めの知識がある保護者をお願いした。

※事前準備：玉ねぎの皮集め(たくさん集まり、先生や保護者のご協力に感謝！)

行動しやすいように、3グループに分かれた。



< 参加者の声 > 完成後、各グループで感想を発表。

*同じ道具と材料だけど、出来上がりは様々で驚いた!

*想像がつかない、たった一つの模様が出来てうれしかった!

*思ったよりはっきりと染まり、きれいにできた!

*子供も大人も夢中になり、楽しかった! *100点満点中100点!

*講師より：自分の作品を誇らしそうに見せてくれて、やってよかったと思いました。

< ハグタイム >

今日のがんばりをお互いに褒め合うハグタイムを会の最後に行った。ハグするのは親子だったり、先生とだったり、友達や友達のお母さんとだったり。みんなが分け隔てなく接しており、すごく良い雰囲気の輪が広がっているように感じた。

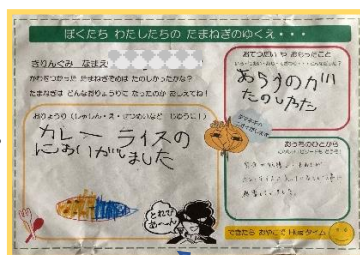
< 在宅ワーク >

「ぼくたち わたしたちの たまねぎのゆくえ...」

収穫し持ち帰った玉ねぎが、家庭でどんな料理に変身したのか、お手伝いエピソードも交えながら記入し、園の廊下に掲示。染めた布は廊下の天井にフラッグ式に飾った。⇒自分の作品を指差し、「これ〇〇が作ったのだよ～」と得意気に教えてくれたり、友達が家でどんな料理に変身させたのか興味深く見ていたり、お手伝い具合を自慢し合ったりする微笑ましい姿が見られた。

< 最後に >

今回、収穫から家庭での皮むき皮集めにはじまり、染めものへと一連の流れを体験することができた。ものが出来上がるにはいくつかの工程があり、時には“待つ”ことも必要であること、「かわいい」「おずかしい」「おもしろい」「たのしい」「うれしい」「できた!!」いろいろなことを親子やみんなと感じられた一日だった。



ご褒美シールを貼し、返却



安全を第一優先としながらも、園児達が間近で見て、実際に自分の手で行うことを重視した。

◆◆火の番◆◆

園児と未就園児も参加するので、火の番と可動式ガードをコンロ前に設置。火の番以外の方も側で見守ってくれた。安心できたという声があり、少しでも講座に集中できたように思う。

◆◆お約束◆◆

● せんせいが いうまで こんろに ちかづかない	● じゅんばんば まもりましょ う
--------------------------------------	----------------------------

約束をひらがなで貼りだし、園児と声に出して確認。園児達は初め、「熱いものに近づくことは危ないし、火傷も心配...」と、鍋に布を入れるのを怖がっていた。けれど、ルールを守り正しいやり方で行えば大丈夫だと学び、実際、鍋に布を入れ終えた時には、ホッと笑顔が見られた。自分にもできた!という自信に繋がった。



在宅カードや作品を廊下に展示し、友達の作ったものを見て楽しむことができた。お手伝いエピソードは、「お家でこんなことしてるんだ。自分もやってみたい!」という気持ちに繋がりと、保護者の参考にもなった。夏休みの流しそうめんの時には、卒園児と保護者の方にも見てもらえた。